



【東証プライム/7199】 プレミアグループ株式会社

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年10月27日



1. 決算ハイライト
2. 決算概要
3. カープレミア
4. ファイナンス事業
5. 故障保証事業
6. オートモビリティサービス事業
7. サステナビリティ
8. Appendix

※決算説明動画はIRサイト (<https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/movie.html>) にて配信しております。



1. 決算ハイライト

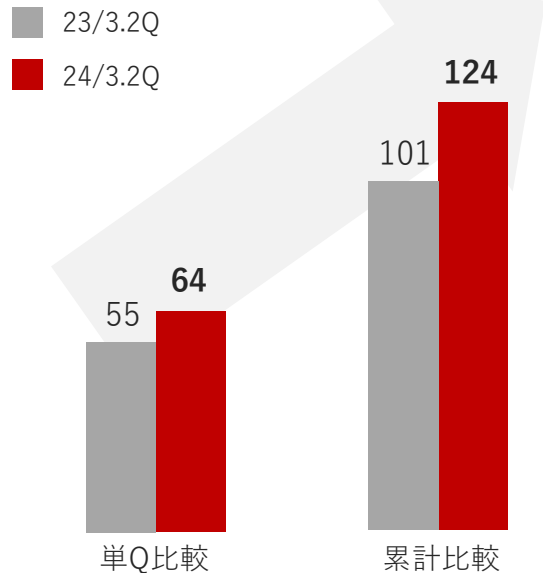
- 中古車価格は正常化の兆しも**高止まり**の状況。中古車市場（台数）は**僅かに回復**
- クレジット/故障保証ともに**好調**。トップライン（＝取扱高）は2桁成長
- 金利上昇については**機動的に金利等へ転嫁**、影響は殆どなし（長プラ1Q末1.30% → 2Q末1.45%）

マーケット

（グラフ単位：万台）

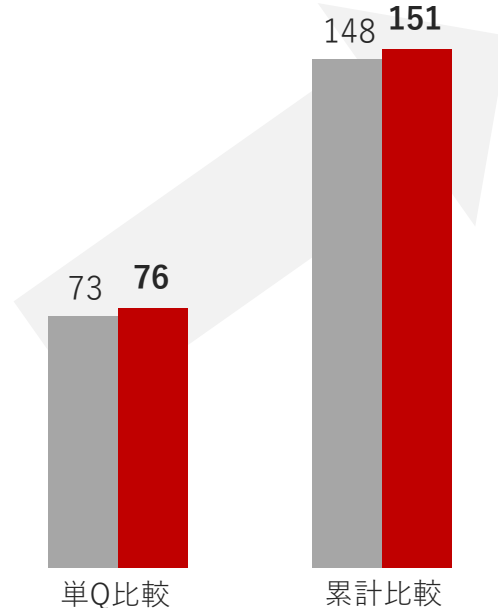
新車販売台数

前年比
単Q +16.3% 累計 +22.7%



中古車登録台数

前年比
単Q +3.3% 累計 +2.1%

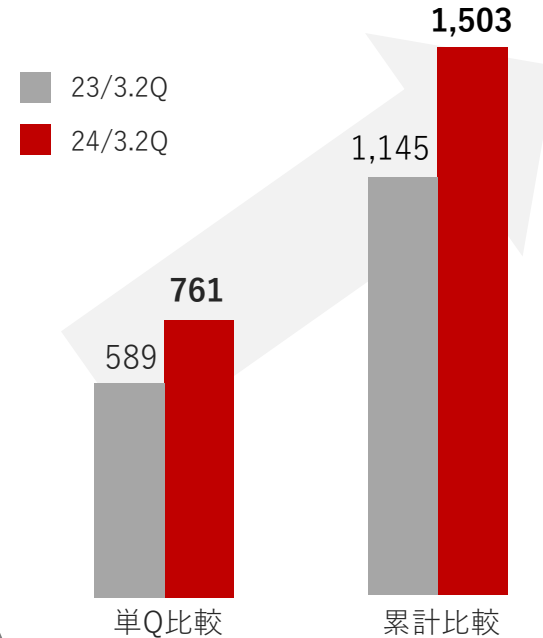


取扱高 (KPI)

（グラフ単位：億円）

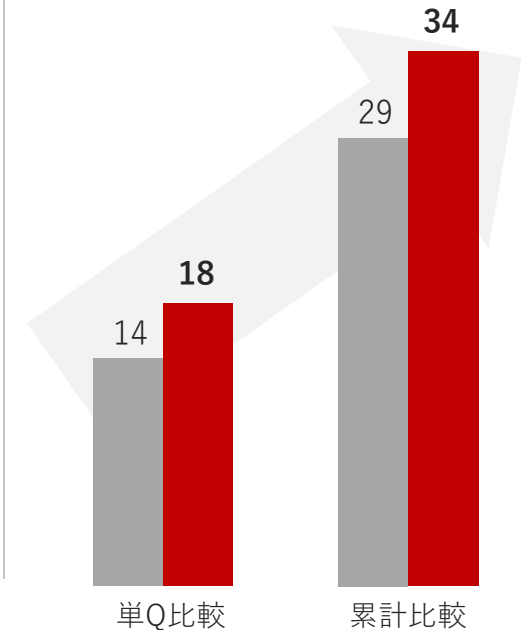
クレジット取扱高

前年比
単Q +29.2% 累計 +31.2%



故障保証取扱高

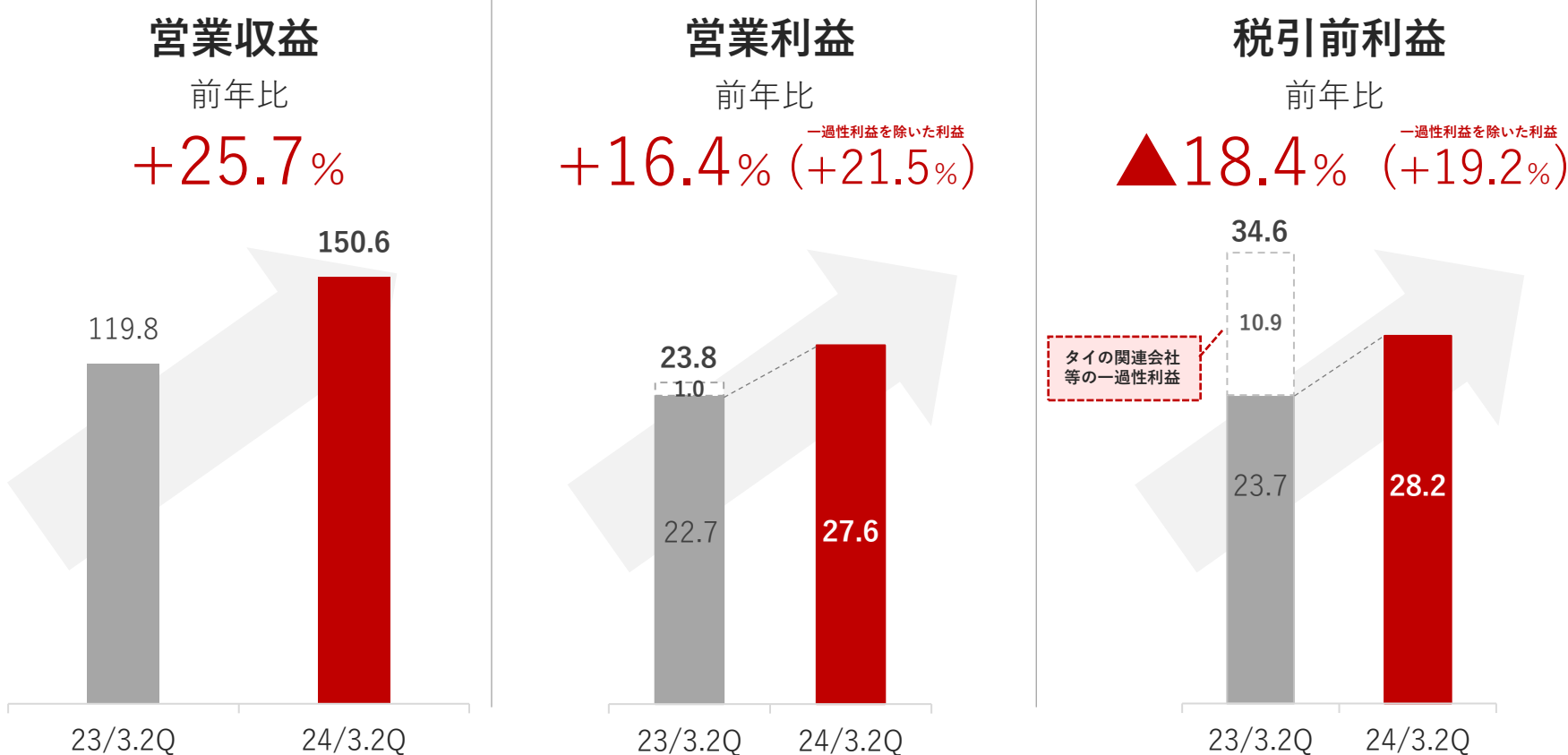
前年比
単Q +24.0% 累計 +19.2%



- 各事業が順調に伸長し営業収益/営業利益ともに2桁成長を記録
- 将来収益（繰延収益）も堅調に積み増し。来期以降の安定収益をBSにストック（495億円）
- 一過性利益を除くと営業利益は前年比+21.5%、税引前利益は前年比+19.2%

業績

(グラフ単位：億円)



将来収益（繰延収益）

全体

495億円

前年比 +25.6%

ファイナンス

422億円

前年比 +26.7%

故障保証

67億円

前年比 +17.6%

ソフトウェア・ カーププレミアクラブ会費繰延

6億円

前年比 +53.1%

中期経営計画進捗（-ONE&ONLY 2026-）

カープレミア事業モデルの確立に向けた取り組みを推進

- カープレミアクラブ^{※1} 会員向けのサービスを拡充
- カープレミアクラブ^{※1} 会費の価格改定を完了

カープレミアクラブ会員数

カープレミアディーラー 進捗率：46.3%

2,317

2026年3月期目標
5,000社

カープレミアガレージ 進捗率：34.8%

522

2026年3月期目標
1,500店舗

その他トピックス



自己株式の取得（2023/10/27開示）

- ✓ 株主還元/資本効率の向上
- ✓ 機動的な資本政策の実施
- ✓ 上限30億円



フィンテック企業（SGP）への戦略的投資

- ✓ AIスコアリングシステムを保有
- ✓ 個人ローン事業へのノウハウ発揮
- ✓ 丸紅、SBIホールディングスが共同出資



循環型社会
形成への貢献

BACEコンソーシアムに加盟^{※2}

- ✓ 中古EVの価値向上/EV普及推進
- ✓ 先進診断技術開発企業等によるプラットフォーム/エコシステム構想
- ✓ オートクレジット/故障保証提供企業としての参画は初

(※) 1. 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称

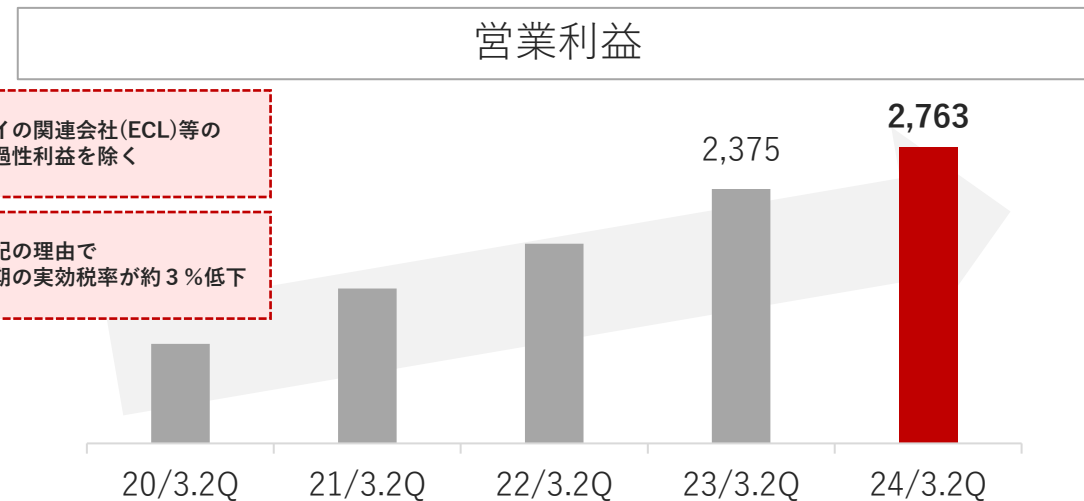
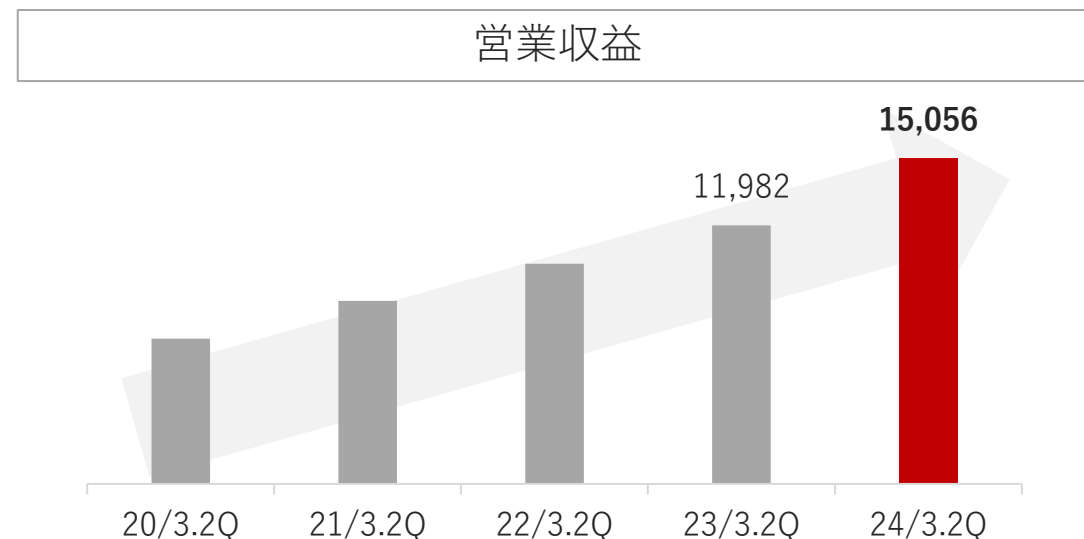
2. BACE (Battery Circular Ecosystem) コンソーシアムは、株式会社日本総合研究所が2020年10月に設立し、EVに搭載される電池のリユース・リサイクルの付加価値向上と循環構造の確立に必要なデータ活用技術やビジネスモデルの研究を行っている。



2. 決算概要

- 各事業の堅調な成長により、**営業収益**は前年比 **+25.7%の150.6億円**
- **営業利益**は前年比**+16.4%の27.6億円**、**税引前利益**は一過性の影響を除くと前年比**+19.2%**

	23/3.2Q	24/3.2Q	前年比
営業収益	11,982	15,056	+25.7%
営業費用	9,608	12,293	+27.9%
営業利益	2,375	2,763	+16.4%
税引前利益	3,461	2,824	▲18.4%
税引前利益 (一過性利益を除く)	[2,368]	[2,824]	[+19.2%]
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,641	2,064	▲21.9%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	68.32	53.04	▲22.4%



タイの関連会社(ECL)等の一過性利益を除く

上記の理由で前期の実効税率が約3%低下

(注) 1. 前年の営業収益・費用は会計方針の変更により、一部遡及をしております。
 2. 会計上の見積りの変更による保険資産評価益(20/3)及び負ののれん発生益(21/3)は非経常的な項目として営業利益に含めておりません。

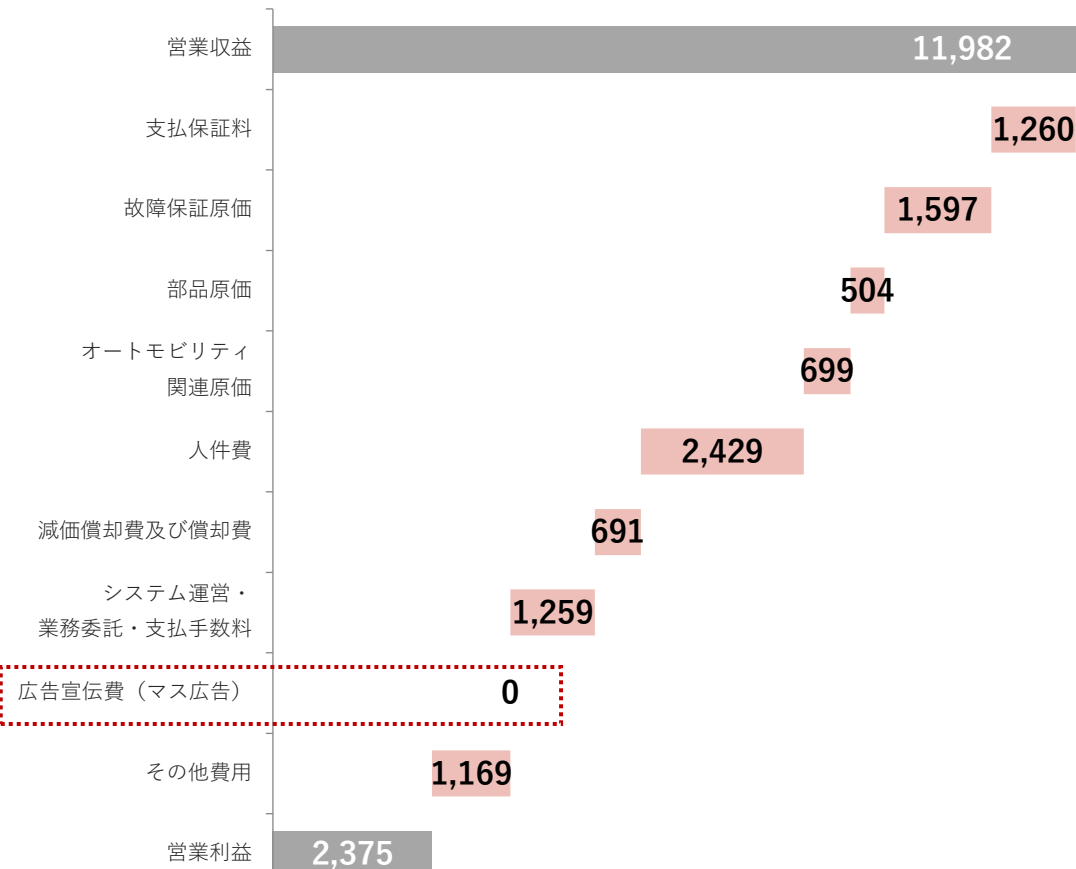
営業費用（内訳）の推移



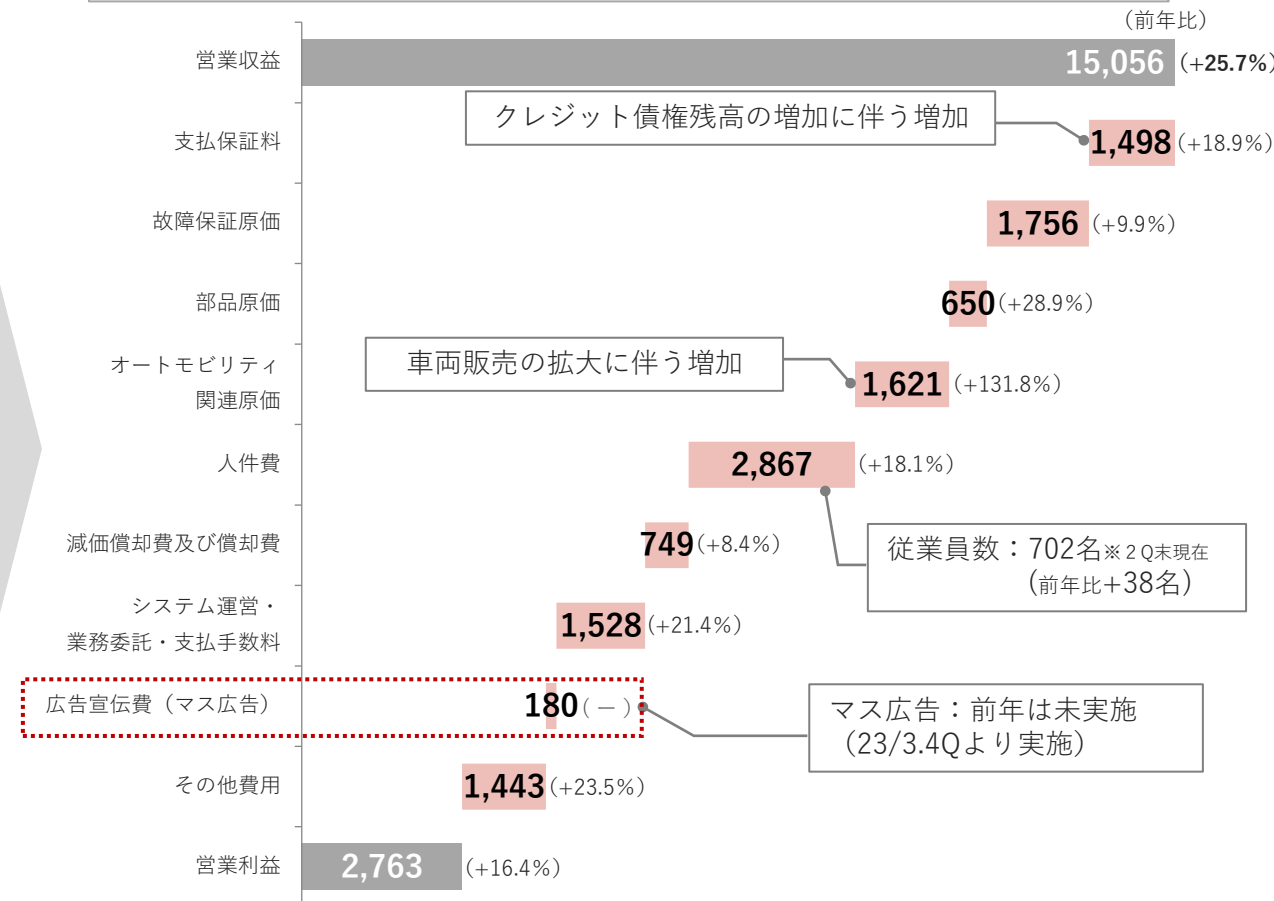
(単位：百万円)

- 売上拡大に伴うコスト増及び人件費増等はあるも、営業収益の伸びと概ね同程度で推移
- 前期4Qで実施したマス広告は今期においては年間を通して実施

23/3.2Q 営業費用
9,608百万円



24/3.2Q 営業費用
12,293百万円（前年比 +27.9%）



(注) 1. 前年の営業収益・営業費用は会計方針の変更により、一部遡及をしております。
2. 速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。

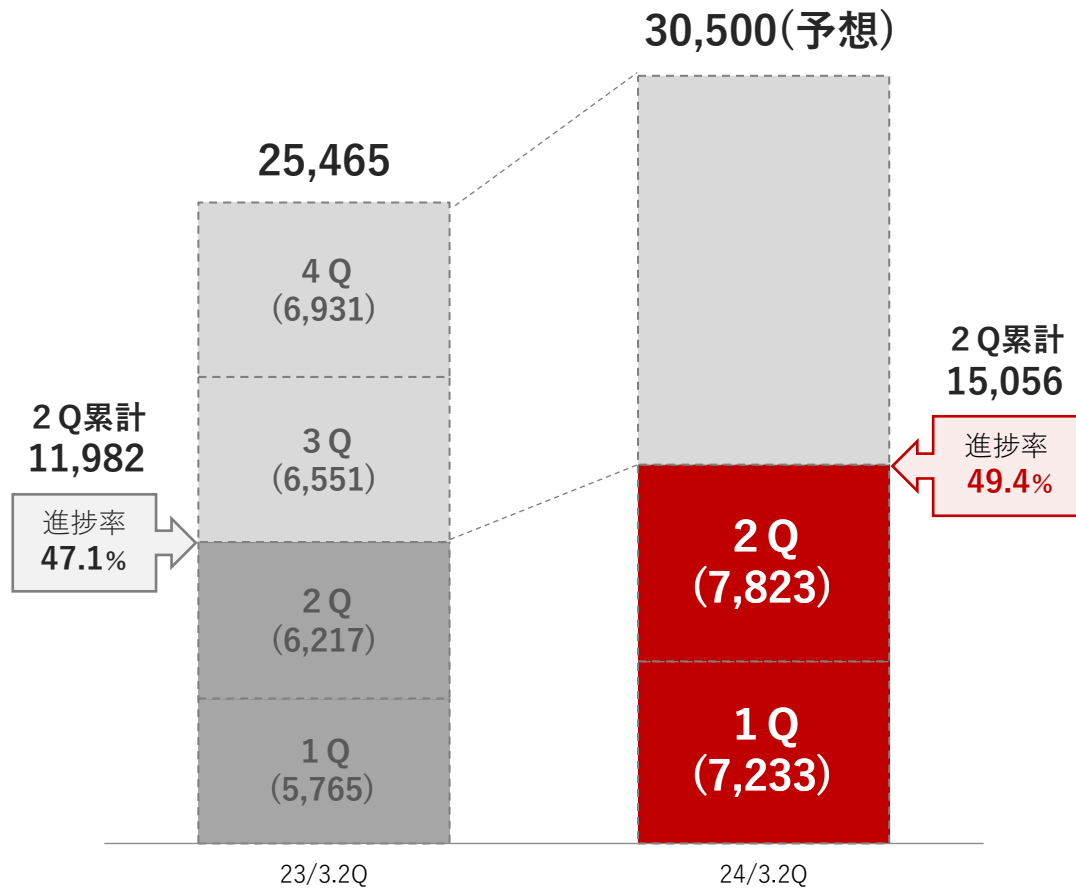
通期業績見通し



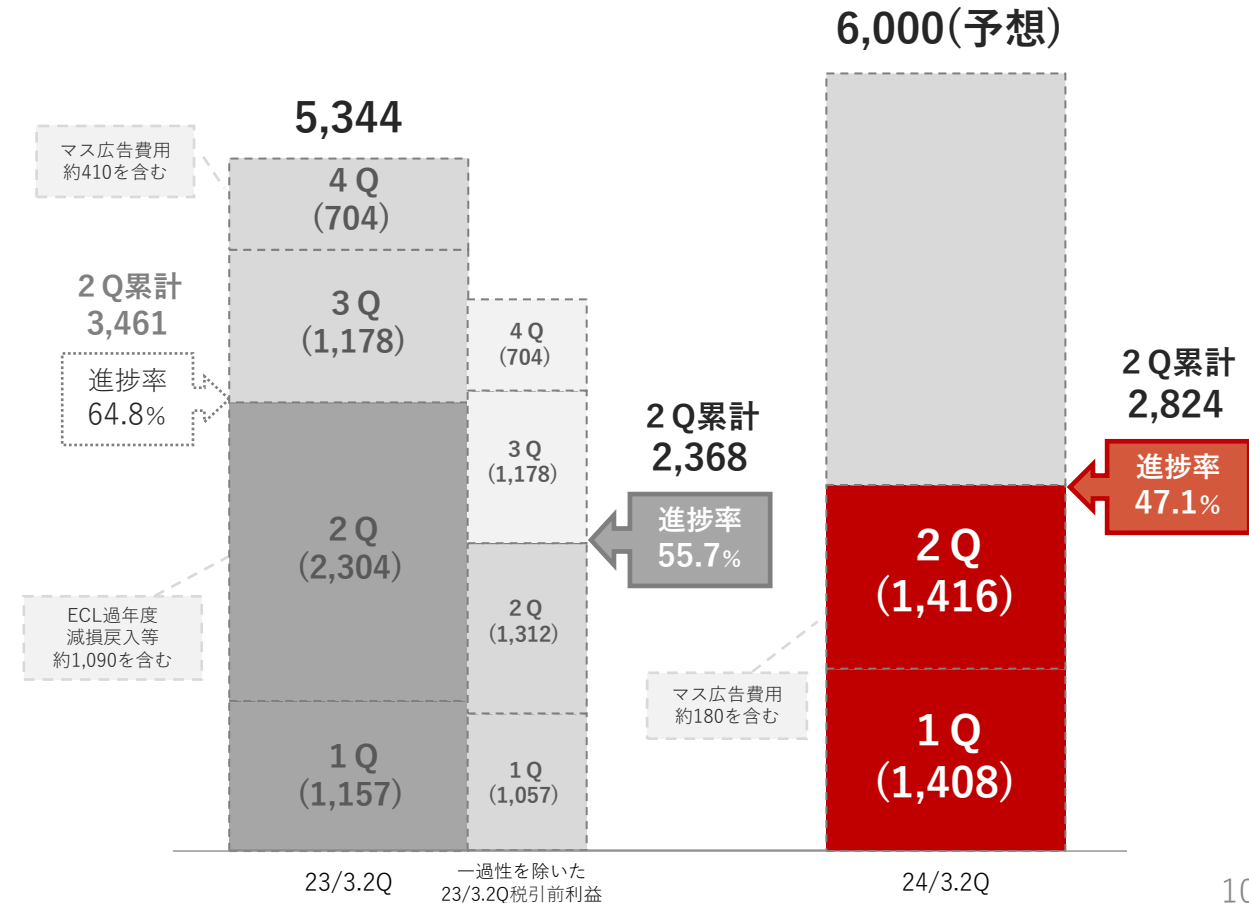
(単位：百万円)

- 営業収益、税引前利益、進捗率ともに、概ね**今期の業績予想通り**に推移
- クレジット債権残高/故障保証残高の**積み上げ**により、四半期毎の業績は**徐々に増加**予定

営業収益



税引前利益



(注) 前年の営業収益は会計方針の変更により、一部遡及をしております。

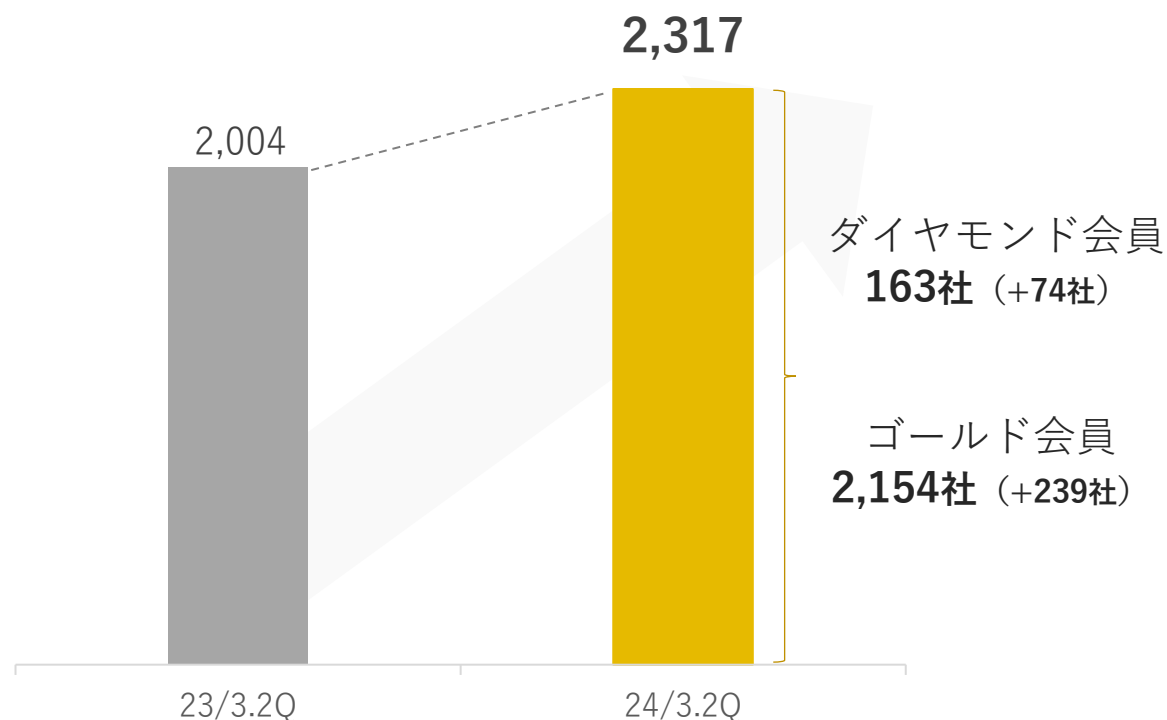


3. カープレミア

- 自動車販売店、整備工場の有料会員組織「カープレミアクラブ」※1を順調に構築
- 有料会員へのアップセル及び会員の拡大/会費収入の増加を目指す
- サービス拡充を順次予定、既存会員への会費価格改定を完了（10/1より新価格を適用）

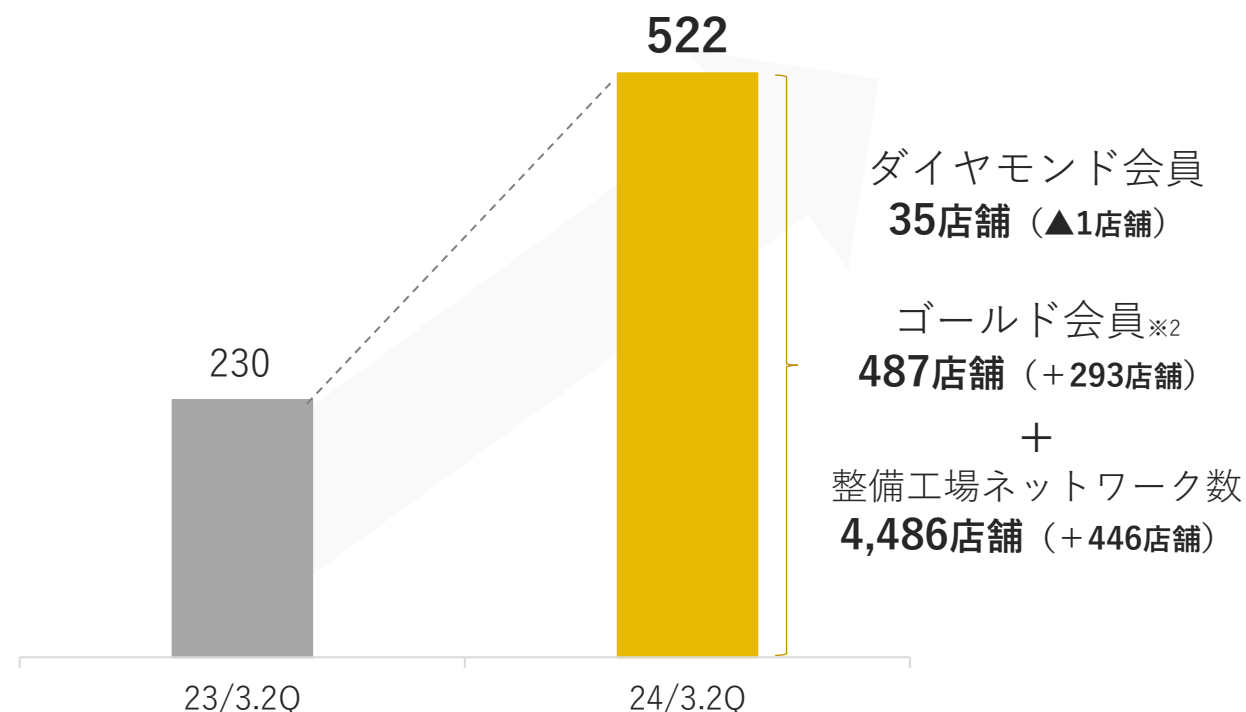
カープレミアディーラー

前年比 **+313社**



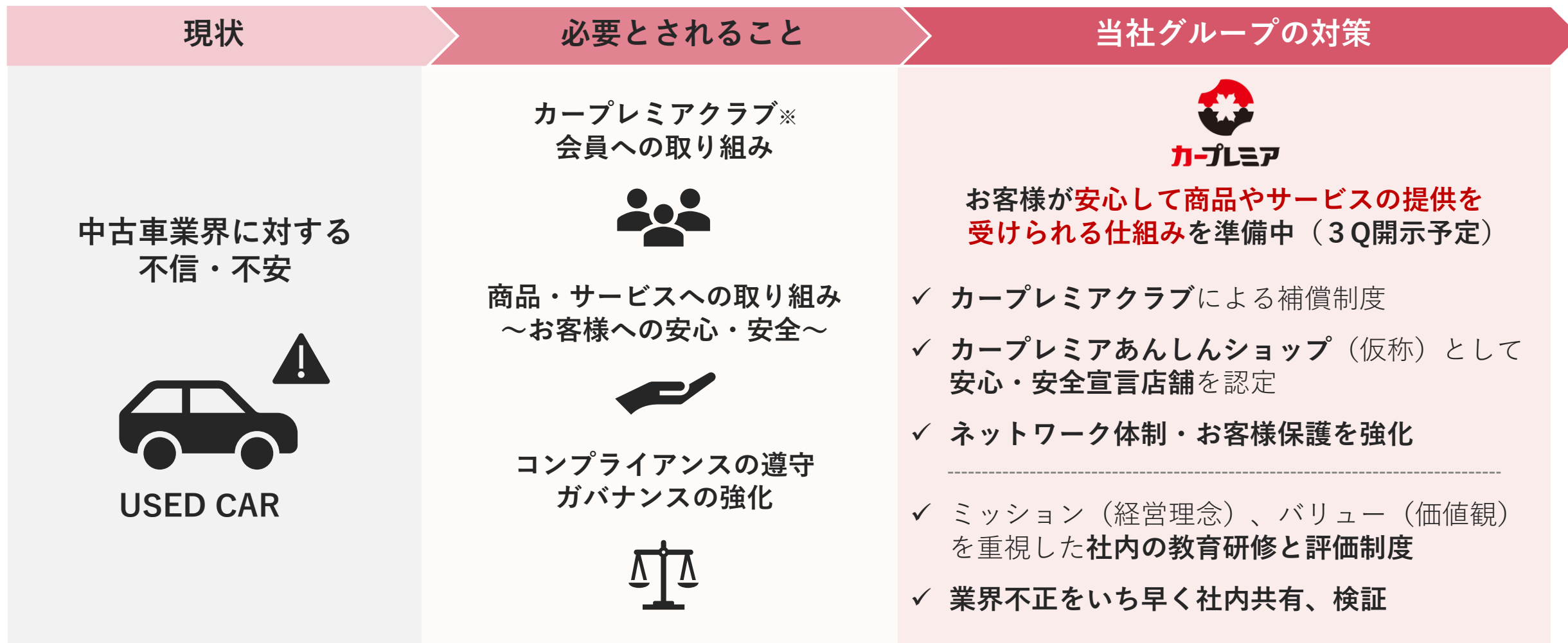
カープレミアガレージ

前年比 **+292店舗**



(※) 1. 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称
2. シルバー会員は組織改編に伴い、2023年9月末時点で完全廃止をいたしました。

- 大手中古車販売店の保険金不正請求等による中古車業界に対する**不信・不安**
→お客様からの**信頼回復**、**安心**して中古車を購入できる環境を整備



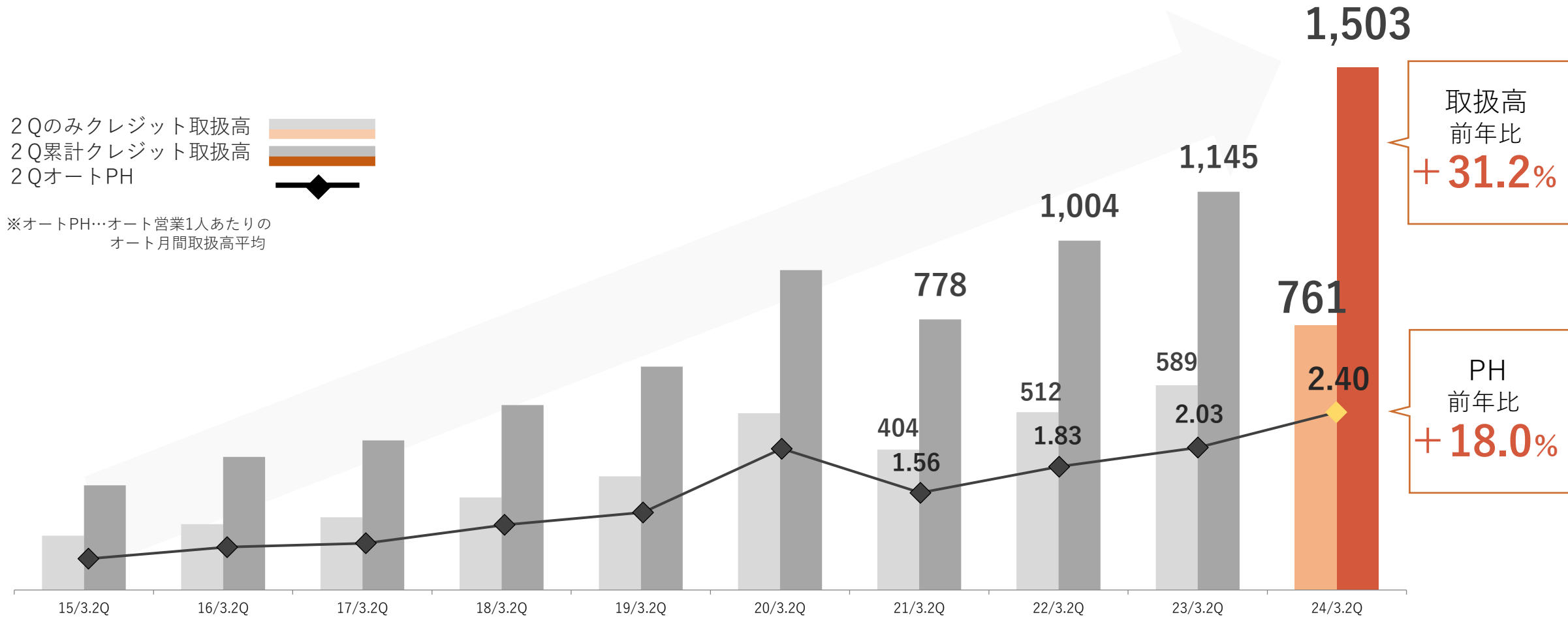
(※) 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称



4. ファイナンス事業

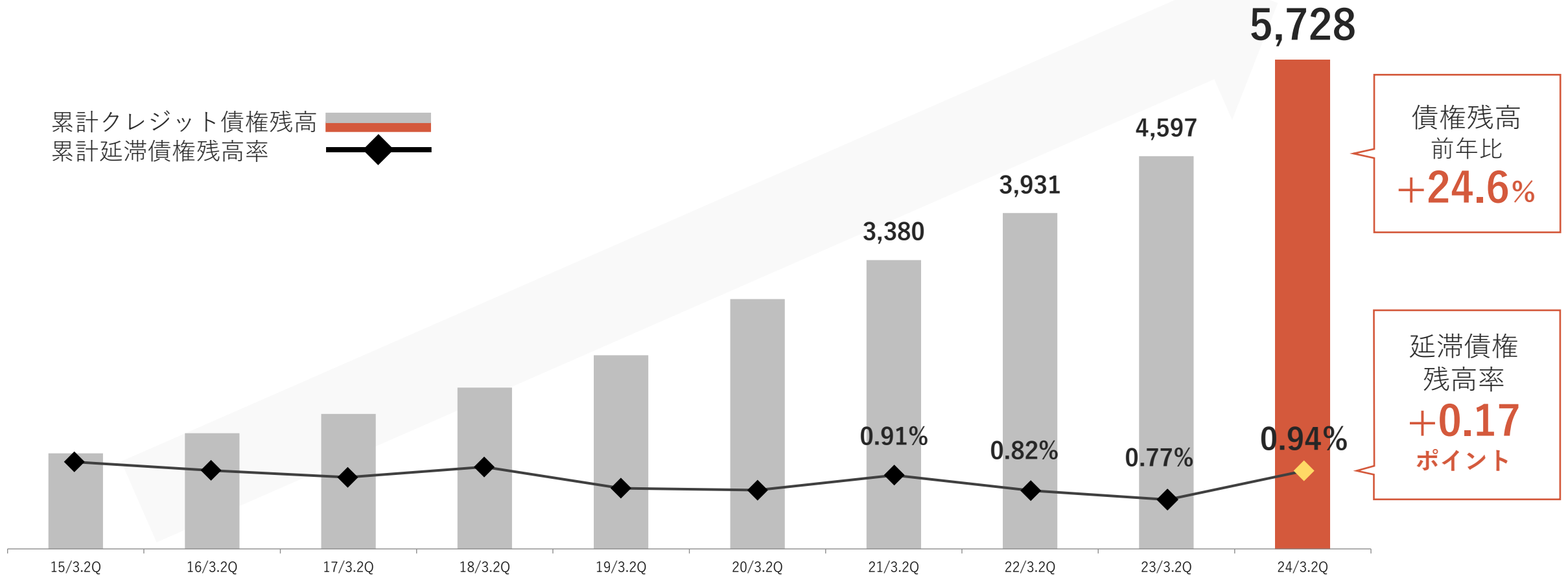
■ 中古車市場は僅かな回復でありながら、カープレミア戦略が奏功
 → 取扱高は前年比 **+31.2%**、オートPHも **2億円**以上を維持。引き続きカープレミア戦略を推進

※カープレミア戦略…P.31参照



(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。
 2. 2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の拡大により営業自粛を行ったため、一時的に取扱高が減少しております。

- 債権残高も前年比 **+24.6%** で伸長
- 延滞債権残高率についても、引き続き **低位安定** の水準で推移
- **人員増強、DX施策（オートコール）、サービサー子会社と協業、延滞債権回収の継続的強化**



(注) 1. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。
 2. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。

- カープレミアクラブ[※]の会費価格改定を優先的に推進→3Q以降、新規会員獲得に再注力
- 営業人員はPHの増加に注力（**仕組み化**や**営業活動の効率化**）し、大幅な増員は予定せず

カープレミアディーラー
オートクレジット割合

前年比
+7.0ポイント

38.6%

カープレミアクラブ会員の増加により
今後も継続的に増加予定

営業人員数

前年比
+8名

106名

既存加盟店に対する
有料会員化への移行を優先推進

AI審査判定率

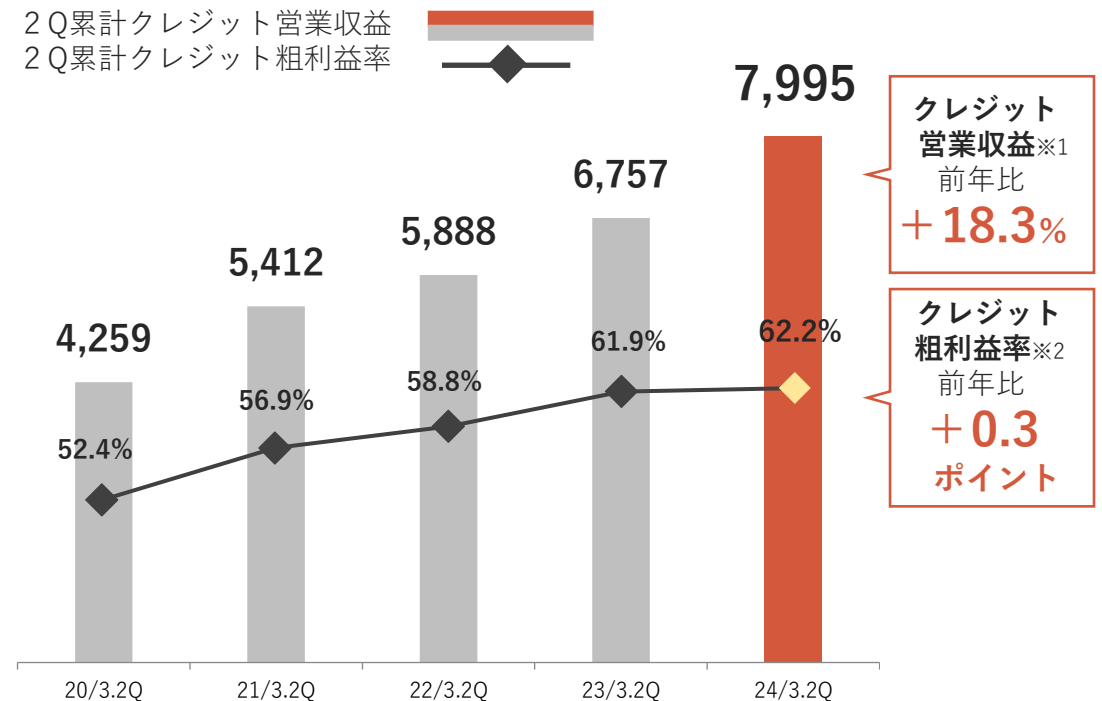
前年比
+2.6ポイント

40.1%

審査の**精度**をさらに向上させ
審査時間の削減や判定の標準化を促進

- 本業であるクレジット事業は順調に**売上/利益ともに伸長**
- 金利は前期から上昇傾向も**機動的に金利等へ転嫁**。クレジット粗利益率^{※2}は高水準を維持
- 一過性利益を除く税引前利益は前年比**+8.5%**であるが、**先行投資**であるマス広告を考慮すると営業収益の前年比と**概ね同程度**で推移

	23/3.2Q	24/3.2Q	前年比
営業収益	7,282	8,420	+15.6%
税引前利益	3,020	2,136	▲29.3%
税引前利益 (一過性利益を除く)	1,969	2,136	+8.5%

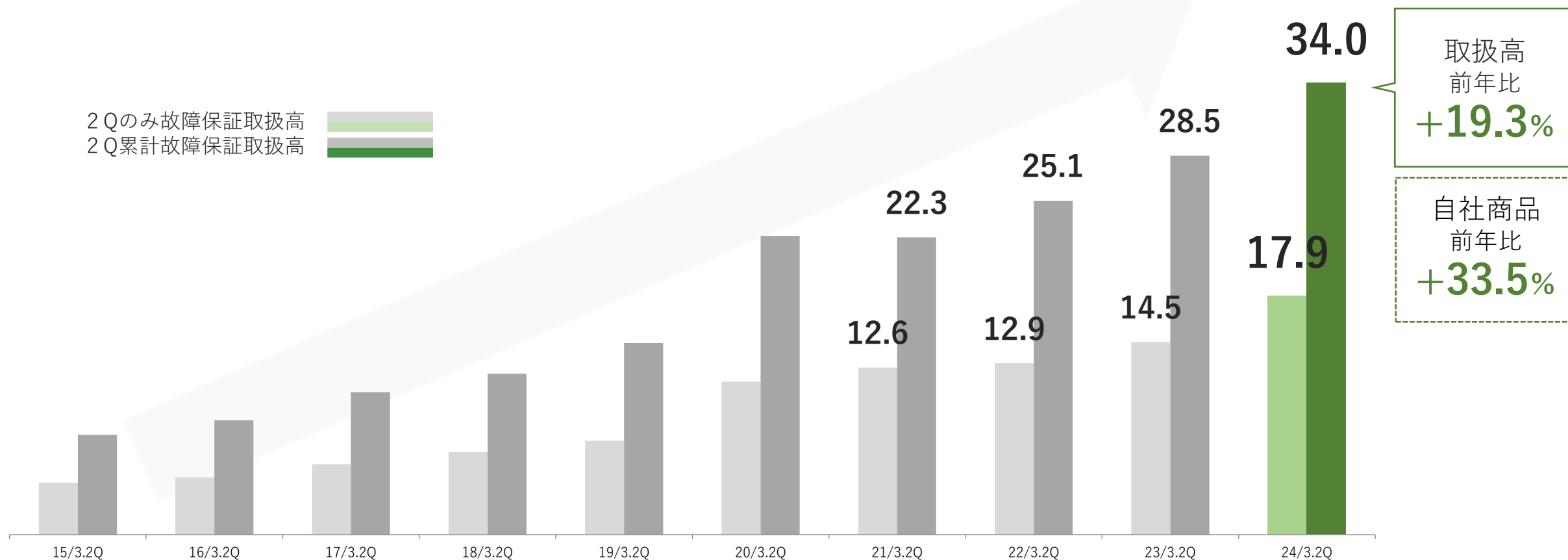


(※) 1. クレジット営業収益は、クレジットにかかる営業収益を集計しております。
 2. クレジット粗利益率は、クレジットにかかる営業利益を、クレジットにかかる営業収益で除した実績となっております。
 なお、当該粗利益率算出時の営業費用は、クレジット獲得のために直接発生した費用（金利、保証料、人件費、地代家賃等）となります。



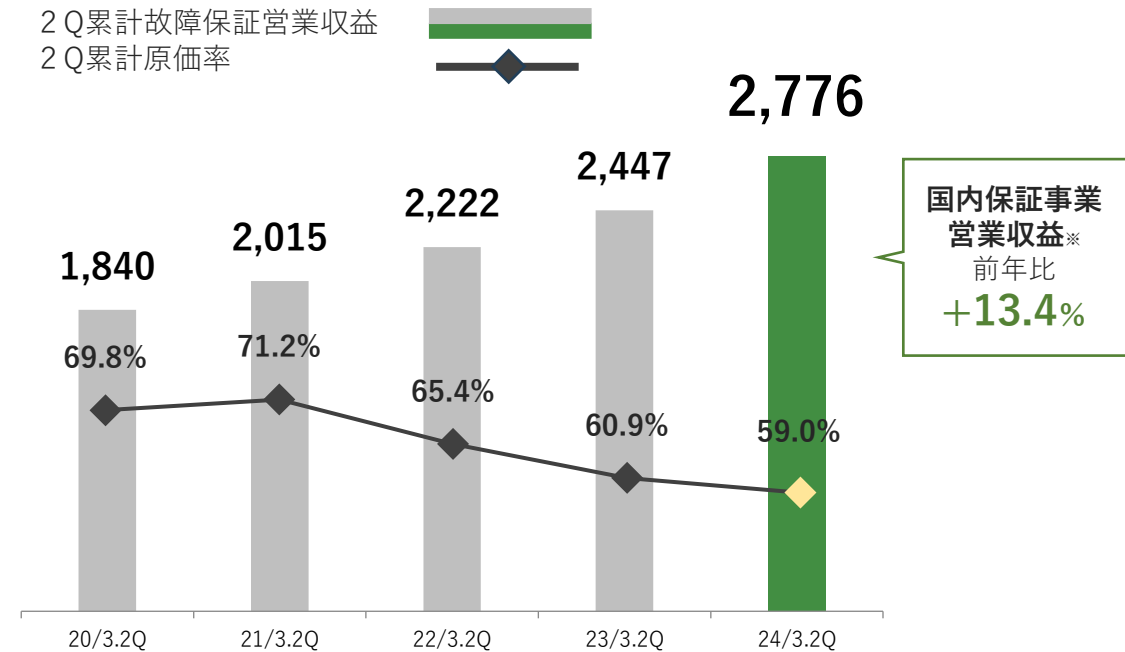
5. 故障保証事業

- 中古車市場は僅かな回復でありながら、故障保証全体の取扱高は前年比+19.3%
- 自社商品の取扱高は前年比+33.5%と継続的に伸長
- カープレミア故障保証の取り扱いを開始し、保証サービスの取扱高増加を目指す



- 各事業において積極的な営業活動を背景に、**順調に収益が伸長**
- 継続的な**原価低減活動**が奏功し、原価率が徐々に低減（＝**粗利益率が増加**）
- **売上拡大に伴うコスト増及び人件費増等**により、税引前利益の前年比は**+8.6%**

	23/3.2Q	24/3.2Q	前年比
営業収益	3,261	3,743	+14.8%
税引前利益	320	348	+8.6%



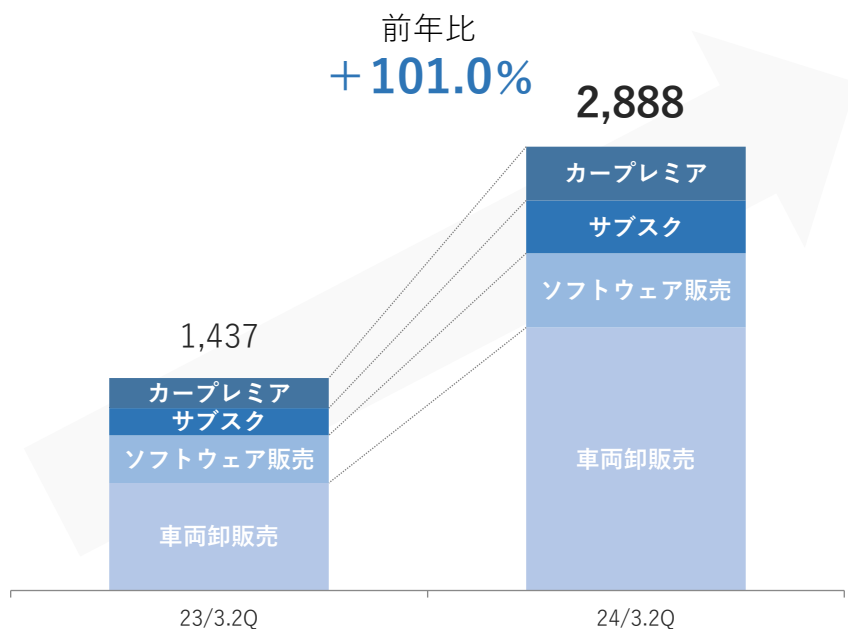


6. オートモビリティサービス事業

■ **カープレミアクラブ**※ 会員向けサービスの開発や新規事業に注力。各サービスともに大きく伸長

	23/3.2Q	24/3.2Q	前年比
営業収益	1,437	2,888	+101.0%
(内、カープレミア)	277	809	+192.5%
税引前利益	137	348	+154.9%
(内、カープレミア)	▲41	44	+84

オートモビリティサービス事業 営業収益



カープレミアクラブ※

前年比
+79.8% カープレミアクラブ会員の増加により
カープレミア会費収入が増加

サブスク (リース)

前年比
+93.2% カープレミアクラブ会員の増加により
プロパーリースの営業収益が拡大

ソフトウェア販売

前年比
+56.4% プレミア加盟店に対する営業強化により
営業収益が拡大

車両卸販売

前年比
+144.5% カープレミア内の流通量増加により
営業収益が拡大

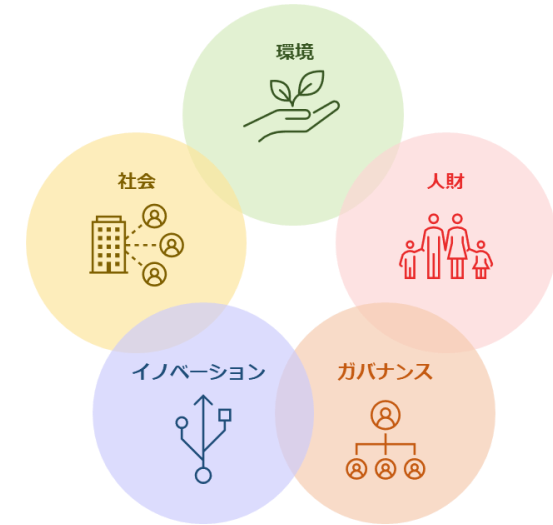
(※) 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称



7. サステナビリティ

統合報告書2023（日・英）を開示

- 新中期経営計画スタート後、初リリースの統合報告書（2023年9月）
- **中古車業界のクリーン化**を推進（社長メッセージ）
- ガバナンスについて（社外取締役座談会）



その他の取り組み



第五回 WOMAN'S VALUE AWARD 最優秀賞/個人賞受賞

- ✓ サステナブル部門**最優秀賞**
- ✓ 女性活躍ロールモデルとして**個人賞受賞**
(女性活躍推進部門リーダー)



人的資本経営コンソーシアムへ入会

- ✓ **人的資本経営**の強化
(実践/開示の両面より向上)
- ✓ 従業員の「Well-being」向上
- ✓ 能力を発揮できる環境の醸成



イシガキシ・ミライ共創プロジェクト研究 を発足（石垣市/事業構想大学院大学と共同）

- ✓ 石垣市の地域課題を解決する**人材の育成と新規事業創出**が目的
- ✓ 産官学民連携強化の取り組み
- ✓ **企業版ふるさと納税**（地方創生応援税制）を活用



8. Appendix

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,327,770株 2023年9月末時点
資本金	1,674百万円 単体 / 2023年9月末時点
従業員数	702名 連結 / 2023年9月末時点（※）臨時雇用者を除く、グループ従業員数
主な株主	<ul style="list-style-type: none"> ・ Coupland Cardiff Asset Management : 5.97% ・ 野村証券（野村アセットマネジメント、ノムラインターナショナル） : 5.96% ・ 三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメント : 4.13% <p style="text-align: right;">（2023年6月7日時点 大量保有報告書等を参照）</p>
グループ内容	<p>国内および海外における各事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カープレミア（自動車販売店、整備工場の会員組織構築） ・ ファイナンス事業 ・ 故障保証事業 ・ オートモビリティサービス事業 <p>※海外（タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）</p>

■ プレミアグループは、自動車販売店や整備工場の皆さまと一緒に
お客様に豊かなカーライフを届ける**オートモビリティ企業**です

事業セグメント

ファイナンス事業

▷ 主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジッククレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

▷ 主な取引先

- ・自動車販売店

故障保証事業

▷ 主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開
(タイ、インドネシア、フィリピン)
- ・国内外への中古パーツ販売

▷ 主な取引先

- ・自動車販売店、整備工場

オートモビリティサービス事業

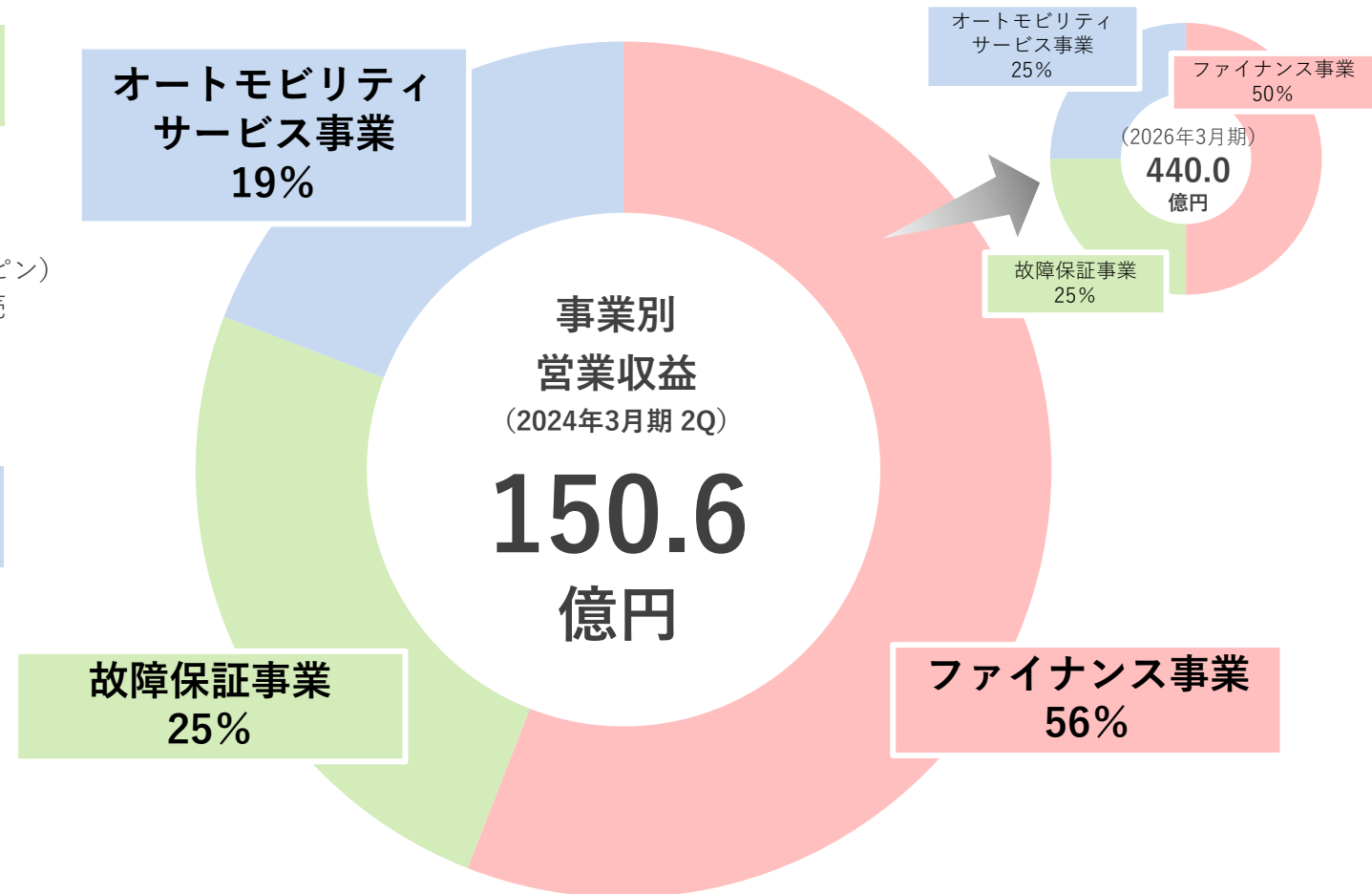
▷ 主な事業

- ・会員組織「カープレミアクラブ」の運営
- ・車両卸販売
- ・サブスク（リース）
- ・業務用ソフトウェア販売
- ・自動車整備工場の運営

▷ 主な取引先

- ・自動車販売店、整備工場

セグメント別ポートフォリオ



- DX戦略の策定から約1年で社内外のDX施策の**基盤を構築し**、
2022年「**DX認定事業者**」の認定、2年連続で「**DX注目企業2022**」「**DX注目企業2023**」を取得
- エンドユーザーとモビリティ事業者を繋ぐ、**プラットフォーム構想の実現を目指す**

DXビジョンの達成

2023年6月
経済産業省が定める
「**DX注目企業2023**」**連続**選定

2022年6月
経済産業省が定める
「**DX注目企業2022**」に選定

2022年5月
経済産業省が定める
「**DX認定事業者**」
の認定を取得

2022年4月
加盟店専用ポータルサイト
「**P-Gate**」リニューアル

2021年5月
**デジタル・トランス
フォーメーション
(DX) 戦略策定**

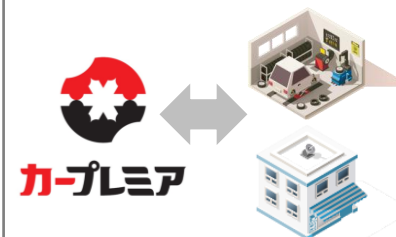
エンドユーザー向けDX



2022年7月22日に
お客様向けサイトがオープン

- ▼サイトでは…
- ・当社が提供する様々なサービスからクルマの乗り方をご提案
 - ・充実したアフターサポート

モビリティ事業者向けDX



モビリティ事業者向け
ポータルサイトのログイン率

※2023年9月末時点

- ・加盟店全体：67.9%
- ・カープレミアディーラー：99.6%

→販売店との
コミュニケーションツールとして機能


中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、
カープレミア事業モデルの確立

数値目標

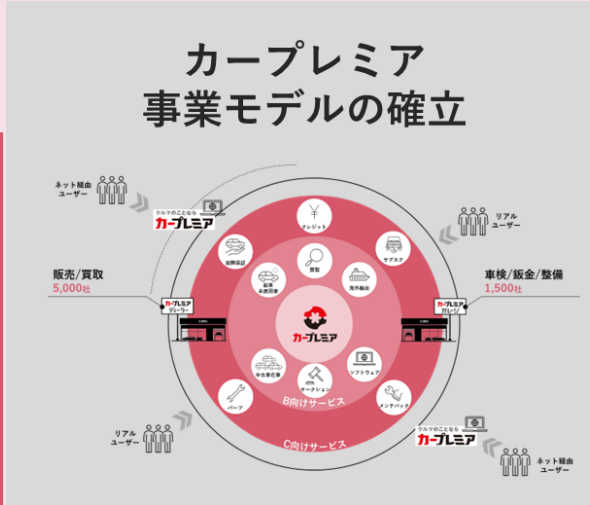
営業収益	税引前利益	当期利益	ROE	時価総額
440億円	102億円	70億円	30%台	1,400~1,750億円
23/3比 +74.6%	23/3比 +91.0%	23/3比 +75.0%	23/3実績 34.7%	23/3比 204~255%


重要課題

 **カープレミア**

- ・カープレミアクラブの拡大
- ・カープレミアブランドの確立
- ・リアル/ネットの集客力強化


カープレミア事業モデルの確立




 **ファイナンス**

- ・カープレミアディーラーを拡大
- ・加盟店当たりの取引量増加

- ・取扱拡大
- ・DX人材の強化
- ・DXへ継続投資

 **故障保証**

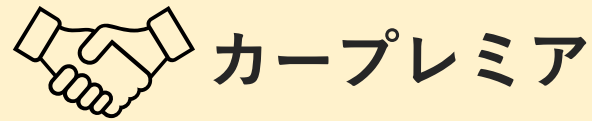
- ・第三者保証市場の拡大
- 自社商品中心に拡販
- ・修理原価の低減

 **モビリティサービス**

- ・モビリティサービスの拡充
- ・モビリティ各事業の規模拡大
- ・差別化商品の開発

- ・DX推進による業務効率化および省力化実現

カープレミア事業モデルの確立に向けて、セグメントの見直しを予定
オートモビリティサービス/カープレミア事業を統合し、更なるグループ間シナジーの創出を目指す




ファイナンス事業

プレミア(株)

オートクレジットを中心としたファイナンス事業
の運営・統括

中央債権回収(株)

債権回収, 車輛引揚事業

 Eastern Commercial Leasing p.l.c. *

オートクレジット, 故障保証事業
(タイ証券取引所上場)

故障保証事業

プレミアワランティサービス(株)

故障保証事業の運営・統括

プレミアオートパーツ(株)


オートパーツ関連事業

 Premium Service (Thailand) Co., Ltd

タイにおける自動車整備, 故障保証事業

 PT Premium Garansi Indonesia *

インドネシアにおける故障保証事業

 Premium Warranty Services
Philippines, Inc. *

フィリピンにおける故障保証事業

オートモビリティサービス事業

プレミアモビリティサービス(株)

オートモビリティサービス事業の運営・統括

PLS(株)

個人向けオートリース事業

プレミアソフトプランナー(株)

事業者向けソフトウェア開発, 販売事業

CIFUT(株) *

自動車関連IoT装置の開発・提供

カープレミア(株)

モビリティ事業者向け会員組織の開拓・運営

PAS(株)

自動車整備事業, 钣金・塗装事業

- **為替変動**については、外貨建取引が極めて僅少
- **金利上昇、インフレ**については機動的に対応



業績への影響は**殆どなし**

① 為替変動



外貨建取引は**僅少**
→ 影響は**殆どなし**

② インフレ・物価高



機動的に**手数料・商品価格を改定**
→ 影響は**殆どなし**

③ 金利上昇

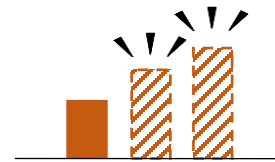
オートローン調達金利

> **契約済**の債権



貸出・調達ともに
固定金利
→ 影響なし

> **新規**に契約する債権



機動的に**金利等に転嫁**
→ 影響は**殆どなし**

財務戦略



- ・ **固定金利**での調達割合を増加
- ・ 資金調達手段の**多様化**を推進
(債権流動化・社債・CP等)



更に**低利・安定的な**
資金調達を実現

	23/3 (2023年3月31日)	24/3.1Q (2023年6月30日)	24/3.2Q (2023年9月30日)	前期末比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	14,857	12,792	15,536	+4.6%	+21.4%
金融債権	45,003	48,233	50,818	+12.9%	+5.4%
その他の金融資産	6,281	6,522	6,900	+9.9%	+5.8%
有形固定資産	3,074	2,961	2,822	△8.2%	△4.7%
無形資産	7,930	8,317	8,606	+8.5%	+3.5%
のれん	3,958	3,958	3,958	+0.0%	+0.0%
持分法投資	2,624	2,716	2,728	+4.0%	+0.4%
繰延税金資産	5	81	93	+1880.4%	+14.7%
保険資産	4,465	5,529	5,889	+31.9%	+6.5%
その他の資産	13,234	12,619	11,949	△9.7%	△5.3%
資産合計	101,431	103,728	109,300	+7.8%	+5.4%
負債の部					
金融保証契約	36,818	39,468	42,237	+14.7%	+7.0%
故障保証前受収益	6,030	6,355	6,711	+11.3%	+5.6%
借入金	31,682	31,740	32,234	+1.7%	+1.6%
その他の金融負債	7,855	6,854	6,904	△12.1%	+0.7%
引当金	363	364	363	△0.2%	△0.2%
未払法人所得税	603	350	905	+50.1%	+158.5%
繰延税金負債	1,360	1,489	1,366	+0.5%	△8.3%
その他の負債	3,367	2,957	3,370	+0.1%	+14.0%
負債合計	88,078	89,577	94,091	+6.8%	+5.0%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,700	1,700	1,700	+0.0%	+0.0%
資本剰余金	1,415	1,455	1,467	+3.7%	+0.8%
利益剰余金	10,952	11,596	12,588	+14.9%	+8.6%
自己株式	△1,088	△1,088	△1,070	△1.7%	△1.7%
その他の資本の構成要素	343	454	486	+41.8%	+7.0%
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,322	14,117	15,171	+13.9%	+7.5%
非支配持分	31	35	38	+20.5%	+9.0%
資本合計	13,353	14,151	15,208	+13.9%	+7.5%
負債及び資本合計	101,431	103,728	109,300	+7.8%	+5.4%

PL (連結累計期間)



(単位：百万円)

連結累計期間	23/3.1Q~2Q (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	24/3.1Q~2Q (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	前年同期比
営業収益	11,982	15,056	+25.7%
営業費用	9,608	12,293	+27.9%
営業利益	2,375	2,763	+16.4%
持分法による投資利益	999	100	△90.0%
その他の金融収益	123	5	△95.8%
その他金融費用	35	45	+26.8%
税引前当期（四半期）利益	3,461	2,824	△18.4%
法人所得税費用	816	753	△7.7%
当期（四半期）利益	2,645	2,070	△21.7%
当期利益の所属			
親会社の所有者に帰属する利益	2,641	2,064	△21.9%
非支配持分に帰属する利益	4	7	+71.9%



(単位：百万円)

PL (連結累計期間／営業収益・営業費用)

連結累計期間	23/3.1Q～2Q (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	24/3.1Q～2Q (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	前年同期比
営業収益			
金融収益	6,042	7,178	+18.8%
故障保証関連収益	2,487	2,842	+14.3%
オートモビリティ関連売上	1,266	2,523	+99.3%
その他手数料売上	1,102	1,221	+10.9%
部品売上	736	878	+19.2%
金融資産の減損利得	172	81	△53.3%
保険履行収益	121	136	+12.7%
その他	56	197	+250.2%
合計	11,982	15,056	+25.7%

連結累計期間	23/3.1Q～2Q (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	24/3.1Q～2Q (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	前年同期比
営業費用			
金融費用	93	141	+52.0%
故障保証関連原価	1,597	1,756	+9.9%
オートモビリティ関連原価	699	1,621	+131.8%
支払保証料	1,260	1,498	+18.9%
部品原価	504	650	
従業員給付費用	2,348	2,749	+17.1%
減価償却費及び償却費	691	749	+8.4%
支払手数料	572	657	+14.8%
租税公課	407	471	+15.7%
システム運営費	394	493	+25.3%
業務委託料	293	378	+29.1%
その他営業費用	749	1,129	+50.7%
合計	9,608	12,293	+27.9%

PL (連結会計期間)



(単位：百万円)

連結会計期間	23/3.2Q (2022年7月1日～ 2022年9月30日)	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	24/3.2Q (2023年7月1日～ 2023年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益	6,217	7,233	7,823	+25.8%	+8.2%
営業費用	4,945	5,868	6,424	+29.9%	+9.5%
営業利益	1,272	1,365	1,399	+9.9%	+2.5%
持分法による投資利益	936	60	41	△95.7%	△32.1%
その他の金融収益	122	4	2	△98.6%	△52.5%
その他金融費用	26	20	25	△4.8%	+22.4%
税引前当期（四半期）利益	2,304	1,408	1,416	△38.5%	+0.6%
法人所得税費用	504	332	421	△16.4%	+26.6%
当期（四半期）利益	1,801	1,075	995	△44.7%	△7.4%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,801	1,072	992	△44.9%	△7.4%
非支配持分に帰属する利益	△ 0	4	3	△1189.7%	△11.0%



(単位：百万円)

PL (連結会計期間／営業収益・営業費用)

連結会計期間	23/3.2Q (2022年7月1日～ 2022年9月30日)	23/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	24/3.2Q (2023年7月1日～ 2023年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	3,080	3,495	3,683	+19.6%	+5.4%
故障保証関連収益	1,262	1,387	1,455	+15.3%	+4.9%
オートモビリティ関連売上	677	1,207	1,316	+94.5%	+9.1%
その他手数料売上	559	605	617	+10.4%	+1.9%
部品売上	383	422	456	+19.1%	+8.1%
金融資産の減損利得	117	70	11	△90.7%	△84.4%
保険履行収益	121	-	136	+12.7%	-
その他	19	48	149	+682.6%	+209.0%
合計	6,217	7,233	7,823	+25.8%	+8.2%

連結会計期間	23/3.2Q (2022年7月1日～ 2022年9月30日)	23/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	24/3.2Q (2023年7月1日～ 2023年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	46	68	73	+58.6%	+8.2%
故障保証関連原価	859	822	934	+8.6%	+13.6%
オートモビリティ関連原価	369	779	841	+128.3%	+8.0%
支払保証料	643	729	769	+19.7%	+5.6%
部品原価	258	305	346		
従業員給付費用	1,228	1,420	1,394	+13.5%	△1.9%
減価償却費及び償却費	340	367	382	+12.3%	+4.2%
支払手数料	299	303	354	+18.4%	+17.0%
租税公課	189	238	233	+23.2%	△2.0%
システム運営費	195	230	263	+35.0%	+14.3%
業務委託料	149	187	192	+28.8%	+2.7%
その他営業費用	370	422	643	+73.7%	+52.6%
合計	4,945	5,868	6,424	+29.9%	+9.5%



本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらを無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。